2018年6月発行

ちきゅう倶楽部
2017年度活動レポート

ちきゅう倶楽部とは?
SOMPOホールディングスグループ社員がメンバーとなるボランティア組織の名称です。

ちきゅう倶楽部社会貢献ファンドとは?
グループ会社社員有志が任意の金額を寄付し、メンバーが行う社会貢献活動に活用するファンド(資金)です。

ちきゅう倶楽部はSDGsにも貢献しています

SDGs(エスディージーズ)とは
地球規模の課題解決に向けて、2030年までに達成すべき目標として、2015年9月の国連サミットで加盟国193カ国の政府間で採択された国際目標です。

毎月100円からできる

一人ひとりの想いの積み重ねが活動の力になっています。

ボランティア活動への支援

ボランティア活動にかかる物品購入費用、輸送費用、講師謝礼等として60件、1,317,090円の支援を実施しました。

SOMPOホールディングスグループ

認知症サポーター養成講座

全国各地で認知症サポーター養成講座を実施し、ご高齢の方や認知症の方へ配慮した対応ができるグループとなれるよう取り組んでいます。ファンドからは、受講に必要なテキストの費用を支援しました。

3 すべての人に健康と福祉を　10 人や国の不平等をなくそう　11 住み続けられるまちづくりを

損保ジャパン日本興亜(浜松支店)

ウミガメ放流と清掃活動

AIRオートクラブ浜松支部およびJSA中核会浜松支部とともに総勢87名で、NPO法人サンクチュアリエヌピーオー協力のもと、中田島砂丘にてウミガメの放流と清掃を実施しました。ファンドからは、活動に必要な輸送費用を支援しました。

13 気候変動に具体的な対策を　14 海の豊かさを守ろう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

セゾン自動車火災保険

不要傘の回収・寄付

社内で不要になった傘を回収し、計279本を、国際社会支援推進会(※)を通じて開発途上国へ寄付しました。ファンドからは、傘の集荷・再利用にかかる費用を支援しました。

※国際社会支援推進会とは傘の他、古着・雑貨などを再利用し、社会支援に役立てる団体。

10 人や国の不平等をなくそう　12 つくる責任つかう責任　13 気候変動に具体的な対策を

会員が推薦するNPO団体等への支援

66団体に対し、660万円の寄付を実施しました。

福祉 HUB'S

農業を通じて障がい者の就労機会を創出する「農福連携(農業と福祉の連携)」を全国各地で推進しています。滋賀県栗東市では、猪が苦手とするこんにゃく芋の栽培・加工を通じて、障がい者の関わる仕事の創出と農業人口減少による耕作放棄地の解消、猪の都市化阻止に取り組んでいます。

推薦者
岩瀬　明さん
セゾン自動車火災保険

3 すべての人に健康と福祉を　8 働きがいも経済成長も　10 人や国の不平等をなくそう　15 陸の豊かさも守ろう

環境 西原自然公園を育成する会

西東京市にある西原自然公園の再生活動を行っています。同公園は、樹木が長年放置されたため生態系が乏しくなり、倒木の恐れや不審者の出没などで危険な場所となっていました。雑木林の若返り作業に17年以上取り組み、自然豊かな明るい公園を復活させています。

推薦者
波多野　恒則さん
SOMPOビジネスサービス

11 住み続けられるまちづくりを　13 気候変動に具体的な対策を　15 陸の豊かさも守ろう

心安全 安健康 由布市災害ボランティアバイク隊

災害時に車の通行が困難となる地域へバイクで駆けつけ、情報収集を行い、医薬品や救援物資等を輸送しています。熊本大分地震や九州北部豪雨災害の際は、見回り・ボランティア派遣等を行いました。2017年5月には、大分県と物資輸送に関する協定を締結しました。

推薦者
小野　精治さん
損保ジャパン日本興亜 九州保険金サービス第三部

3 すべての人に健康と福祉を　10 人や国の不平等をなくそう　11 住み続けられるまちづくりを

広域大規模災害発生時の支援

＜ファンドから災害支援団体への支援＞

広域大規模災害発生時に、現地にて初動の支援活動を行う団体の支援や、被災された方々への義援金の寄付を行っています。
2017年度は、右記のとおり合計150万円を支援しました。

平成29年7月九州北部豪雨災害	秋田県大雨災害
中央共同募金会:100万円	**秋田魁新報社（寄託）:50万円**

＜ちきゅう倶楽部メンバーの活動＞

損保ジャパン日本興亜労組九州分会および損保ジャパン日本興亜九州本部の総勢20名で、九州北部豪雨の災害ボランティア活動をしました。被災したご家庭の泥出しや、家財の搬出・ごみの分別を行いました。
ファンドからは軍手代を支援しました。

2017年度 社会貢献ファンド収支報告【2017.4～2018.3】

（単位：円）

収入	予算	実績	支出	予算	実績
ちきゅう倶楽部繰越金	11,398,736	11,398,736	ボランティア活動への支援	1,500,000	1,317,090
毎月のチェックオフ	22,000,000	19,526,768	会員が推薦するNPO団体等への支援	6,600,000	6,600,000
代理店戻入	35,000	38,340	広域大規模災害支援	3,000,000	1,500,000
寄付　他	0	0	森林整備活動支援	700,000	655,417
利息	1,000	96	財団・NPO団体等を通じた支援	13,250,000	12,241,600
			その他活動推進費（新規グッズ作成費）	0	0
			事務経費（振込手数料など）	150,000	201,404
			活動レポート印刷代	800,000	777,600
			予備費（運営委員会にて企画した活動費や広域大規模災害支援など）	2,800,000	0
			次期繰越金	4,634,736	7,670,829
合計	33,434,736	30,963,940	合計	33,434,736	30,963,940

SOMPOちきゅう倶楽部は、運営委員会および選考委員会を置き、それぞれメンバーの代表で構成し、運営しています。

2017年度　会計監査報告

「SOMPOちきゅう倶楽部」社会貢献ファンドの2017年4月1日から2018年3月31日までの経理状況についての監査を実施しました。
監査の結果、ちきゅう倶楽部が実施している会計処理の手続きは一般に公正妥当と認められる会計基準に合致していることを確認いたしましたので、ここに報告します。

2018年4月16日　監査担当 新倉　岡川 和 新倉（ちきゅう倶楽部メンバー　SOMPOホールディングス　経理部　担当部長）

ファンドは皆さん一人ひとりの寄付で支えられています。
この機会に、新規加入・増額のご検討をお願いします。

ファンド加入・増額方法

SJNK　WELBOX（https://www.welbox.com/）にアクセスし、ログイン後、「ちきゅう倶楽部寄付金申請WEBシステム」へ進み申請。
・会員番号：「2049」＋「－（ハイフン）」＋「社員番号」
・パスワード：初期パスワードは生月日4桁（例:1月31日生まれの場合=0131）

グループ会社　ちきゅう倶楽部窓口担当者へお問い合わせください。

社会貢献活動　報告方法

SJNK　ノーツアイコン「CSR関連フォーラム」にて、活動写真とともに報告してください。

グループ会社　ちきゅう倶楽部窓口担当者へお問い合わせください。

社会貢献活動の際に活用できるグッズは?

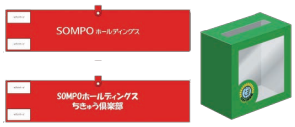
活動を盛り上げるための各種グッズを貸出・譲渡しています。　※数に限りがあります。

貸出用グッズ

ウィンドブレーカー、ビブス、のぼり旗など

譲渡用グッズ

腕章、切手収集BOX



発行　SOMPOちきゅう倶楽部事務局
SOMPOホールディングス（株）　CSR室
〒160-8338　東京都新宿区西新宿1-26-1　TEL050-3808-2609
URL http://www.sompo-hd.com/

このレポートは、国産材70%（間伐材を含む国産N材15%以上）配合した紙を使用しています。
大豆油インクを使用して印刷しています。